



西覚寺だより

第30号

春季彼岸会のご案内

● 日にち 三月 二十日(祝・木)

● 時間 午後一時半 ～ 午後三時半頃
● 内容 お勤め(宗祖讃仰作法 音楽法要)

● 休憩
● ご法話

※春季彼岸会は、午前の法座はありません。
ご注意ください

● 布教使 橋本 一風 師(三重県・女性布教使)

若手の女性の布教使の方です。いつもの男性の布教使の方、ベテランの布教使の方々は雰囲気の違いが法座になるかと思いません。ぜひお聴聞ください。

● お勤め 今回の法要のお勤めは、西覚寺では

はじめて勤めますが、内容は基本的に正信偈です。正信偈にメロディーをつけて、全体通しても西洋音楽の要素を用いた、とても荘厳な雰囲気のお勤めです。CDを併用します。

● 持ち物 マスク着用推奨(換気をしないため)

お念珠、門徒式章(お持ちの方)、御仏前(受付にお渡し下さい)

謝意

西覚寺では、仏さまのお話を聴く大切な場として、年に五回法要を営んでいます。いつも参ってくださる方、ありがとうございます。いつも70名ほどの方が、都合をつけてお参りに来てくださっています。

その法要にお越しくくださった方には、お下がりとしてお饅頭をお配りしています。三つ入りのお饅頭、西覚寺の焼き印が入ったお饅頭です。そのお饅頭のお支度は、西覚寺のご門徒でもある、西覚寺の隣町、日の出町にあります「櫻屋」さんをお願いしていました。

その櫻屋さんのご主人が先日、お亡くなりになりました。とてもさみしく、また急なことでしたので大変驚いたことでした。それに伴い、櫻屋さんは休業となります。

改めて、これまで西覚寺の法要の度に、多くのお饅頭を支度してお供えくださったご苦勞を偲び、その御恩に感謝させていただきます。私が注文を急っていて、急なお願いになってしまったのも快く間に合わせてくださったこともありました。櫻屋さんの「あんじょはんじょ」のお饅頭が好きでした。季節に合わせてお饅頭の色も変えてくださいました。本当にありがとうございました。

法要に来られる方には、事前にお知らせしなければいけないと思い、この場をお借りして書かせていただきました。

なお、今後の法要の際のお下がりについてですが、櫻屋さんにかわり、安城駅前の「両口屋菓匠」さんが、同じお菓子屋さん仲間として引き継いでくださいました。櫻屋さんと同じものというわけにはいきませんが、これまで同様にお下がりのお菓子は支度させていただきます。西覚寺の焼き印も入れて頂きます。

櫻屋さん、いままでもうありがとうございました！

子ども会のご案内

お寺にこどもの声があふれますように。そんな西覚寺でありたいと思っております。

いまは小学一・二年生の子たちが多く遊びにきてくれています。お子さま、お孫さま、どうぞ声をかけてもらって、お寺でたのしく遊んだり、お経をとなえたりしませんか？ご参加の方・興味のある方は、お寺までご連絡ください。

花まつりと進級のお祝い

- ・日にち 4月1日
- ・時間 午後2時〜午後4時頃
- ・持ち物 お念珠 お経の本
こども式章
スタンプカード

内容

お釈迦様のご誕生祝
お花紙でお花をつくろう
進級祝いをプレゼント
お菓子でおやつタイム
甘茶も飲んでみよう

※スタンプカードは、お渡し済みの方のみ。お持ちでない方には、ご参加の際にお渡しします。新しく参加されてみたい方は、お念珠のみで大丈夫です。お気軽にご参加ください。



定例法座のご案内

気軽に聞ける、仏さまのお話の会

開催日 4月5日 (土)
6月14日 (土)

※注 ★8月23日 (土)★
8月は予定が変更になっています

時間 毎回 午後二時〜午後三時

内容 お勤め「らいはいのうた」
その後、法話(40分程)

ご講師 内田正祥師
(三重・本願寺派布教使)

テーマ 『浄土真宗ってなあに?』
浄土真宗ってどういう宗教なんだろう。そういう大切なことを、ひとつひとつお話ししてくださいませ。いままでお寺の行事に参加したことないという方も大丈夫です。時間の短いご法座ですので、気軽にご参加いただけます。ぜひお参りください。

持ち物 お念珠、門徒式章(お持ちの方)
マスクは各自のご判断で。

☆ なお、毎回お越しいただいている内田正祥先生のご法座は8月までです。そのあとも引き続き、隔月(偶数月)に開催してまいります。
内田正祥先生のご法座は、滋賀県の藤澤信照先生にお願いしております。

▽ 住職の一言(小言) コーナー

「口耳四寸の学」という言葉があります。聞いたことを、さも自説のようにそのまま人に伝えるだけのこと、というような意味です。どちらかというところ、悪い意味で使われることが多い言葉です。でも、聞いたことをそのままに、というの大切かと思えます。たとえば、

①「住職はどのご法事も勤めた方がいいとすすめる」

②「でも、ご法事が都合によってできない方もいる」

③「ご法事をしない人もいい」ということは

④「ご法事はしなくていい」

こんな感じで勝手に解釈が拡がっている方がよくいます。自分の都合や意向に従って、結論を作り出している方がいます。④にいたっては、①と全く違う意味になっています。葬儀社さんの中にも、さも知った口でこのように伝えてしまう方がいます。困ります。これはただの間違いです。
ご法事にしなくていいものはありません。どのご法事もすべて、「した方がいいもの」、です。



浄土真宗本願寺派
西覚寺

安城市朝日町12・8

☎ 0566・76・3594
<http://saikakuji.sakura.ne.jp/wp/>